

## 平成 26 年度 第 1 回 千葉県ダブルダッチ協会 超会議 議事録

開催日時：平成 26 年 10 月 26 日 13:30～17:00  
会場：翔洋学園高等学校千葉校

### 参加者 12 名

りょー・さやか（津田沼高校ぴよん）  
小沢（一大 DDS）  
及川（ZERO-ONE）  
みわ（Groove Line）  
あかね（かすたむ☆めいど）  
タク（超三流）  
きっしー（Still 社員）  
ちゃんいー（麗澤大 Reib）  
しょーご（千葉大 AX）  
タカ（AT-OUT/groovy オーガナイザー）  
しょーいち（超三流/ダブルダッチスクール STEPUP）  
トシタカ（千葉大 AX/おしゃらぐ Vibes）

※通称表記・敬称略

### 議事内容

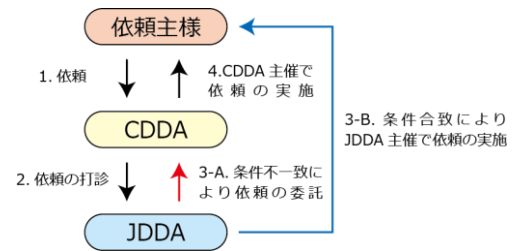
1. 会長挨拶
2. 自己紹介
3. 前回会議の振り返り
  - ・前々回超会議の議題より
  - 連携とシェア：他県協会との連携/KYOAL
  - 外部への露出機会：「定番デモ」/CDDA ページでの団体情報発信
  - ・JDDA とのつながりの確認
  - ・JDDA 公認インストラクター資格制度の是非
  - ・今年度の活動内容について
  - チャレンジダブルダッチ in ちば／合同練習会／講習時のノウハウ共有／
  - バトルイベント／練習環境の確保／要注意人物について
4. 議題
  - ・CDDA が窓口で受けた依頼についてのワークフローについて（報告）
  - ・「第 4 回 チャレンジダブルダッチ in ちば」について
  - ・意見交換や前回議題への追議論
5. その他
6. 閉会
7. 座談会

## 議事録

## 4. 議題

➤ CDDA が窓口で受けた依頼についてのワークフローについて（報告）

- ① 外部から依頼があった場合はまず日本ダブルダッチ協会（以下 JDDA）に公認インストラクターの派遣が可能であるか相談する。
- ② JDDA 公認インストラクターの派遣が日程や人員、先方の予算等の事由により叶わない場合、千葉県内で対応できそうな団体があれば CDDA から紹介。



上記フローについて JDDA より承認を受けた。

（図中「2.（JDDA への）依頼の打診」は、依頼主から直接して頂くケースもある）

また、以下の留意事項も確認した。

- ・ダブルダッチの価値低下を防ぐため積極的にボランティアでの対応を PR することは避ける
- ・学生団体における学生連盟に対する報告に関しては変更点なし

〈その他〉

- ・各団体が独自に受けたものに関しては（CDDA に対して）報告・相談する必要はない  
⇒もし人数不足などで、依頼を取りこぼしてしまいそうな場合には積極的に CDDA を使って情報共有・呼びかけをしていきたい。

➤ 「第4回 チャレンジダブルダッチ in ちば」について

蘇我勤労市民プラザでの復興・防災イベント「絆プロジェクト」との併催。

- ・主催を CDDA に変更し、蘇我勤労市民プラザ 4F ホールで実施。
- ・「絆プロジェクト」：災害避難生活時、特別な道具がなくても遊べる遊びの一つとしてダブルダッチを紹介するブースを設ける。
- ・地域と関わるイベントの実施ということで他協会にない独自性。
- ・当日の出演や STAFF、及び事前の企画運営への協力依頼（別紙参照）

## 5. その他

➤ 合同練習会について

次回会議（4ヶ月後）までに各団体の練習にお邪魔する形式で小規模に実施したい。（大勢だと手続きを踏まないと問題になりかねないので注意する。）

➤ 共通デモについて

千葉県内の各団体が共通して実施できるデモを作成する。協力依頼（別紙参照）

- ・「第4回 チャレンジダブルダッチ in ちば」での実施を目標

以上